

競技概要(千葉予選)

【競技方法】・18ホールストロークプレー

* 悪天候等により9ホール競技に短縮する場合もある

【予選通過】・プロ25位タイ、アマ10位タイまでが決勝ラウンド進出

【使用ティ】・男子プロ・研修生、男子アマは(青)使用

・シニア(満50歳以上)の男子プロ・研修生、男子アマは(白)使用

・女子プロ・研修生、女子アマは(白)使用

【その他】・2点間距離計測機の使用を可能とする(高低差機能は禁止)

- ・アウト・オブ・バウンズの境界は、白杭をもって標示とする。
- ・修理地の区域は、青杭または白線をもってその限界を標示する。
- ・レッドペナルティーエリアは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する

・ジェネラルエリアにおいて、球がその勢いで地面に食い込んでいるときは罪無しに拾い上げ、地面に食い込んでいた場所の直後を基点に1クラブレンジス以内のジェネラルエリアにドロップをする。

・カート道路や舗装された道路、サブグリーン(グリーンエッジを含む)はプレー禁止とする。
その際、スタンスがかかる場合も救済を受けなければならない。

・一部グリーンとグリーンエッジの境界に溝があり、溝に球が触れている場合はオングリーンとする。

・ホールとホールの間では、練習ストロークをしてはならない。ただし、ハーフターンのパッティング練習のみ認める(練習場及びアプローチ練習は禁止)
・プレー中にて処置について疑問がある場合は2つの球をプレーしてそのホールを終えることができる。その際スコアカードを提出する前に、競技委員に報告しなければならない。

1. 3番ホールにおいて、球が防球ネットを越えて4番ホールに行った場合は、ドロップゾーン(黄線にDZで表示)から無罰でプレーすることができる。

2. 13、14番ホールにおいて、パッティンググリーン奥にある防球ネットに球が近接しているため、スタンスや意図するスイング区域の妨げになる場合、次の選択肢がある。

①規則16.1に基づく処置

②無罰でドロップゾーンに球をドロップする、このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。